



第55号
令和5年11月発行



報告 第20回博多のおいしゃんと歩こう
追い山笠コース探訪

報告

第41回NPO博多の風フォーラム
「チームづくりとリーダーシップ
+カーボンニュートラルの進め方」

第22回 楽文コンテスト 各賞受賞作品発表!!

NPO 特定非営利活動法人

◎主催 …… 博多の風

◎協力 …… 博多祇園山笠振興会、(株)毎日新聞社、RKB毎日放送(株)、日本電気(株)

◎協賛 …… 九州電力(株)、西部ガスホールディングス(株)、(株)西日本シティ銀行、西日本鉄道(株)、(一財)福岡県交通安全協会

◎後援 …… 福岡市、福岡市教育委員会、(一社)九州経済連合会 [順不同]

近年の活動

※設立からの詳細はホームページをご参照ください
<http://hakanokaze.jp>

令和元年(2019)

- 5月 第40回 NPO博多の風フォーラム 開催
講師:戸谷 弘一(博多警察署長)
- 6月 第18回 追い山笠コース探訪 開催
第19回 楽文コンテスト 開催
- 11月 第19回 楽文コンテスト表彰式 開催

令和2年(2020)

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、各行事の開催見送り

令和3年(2021)

- 6月 第20回 楽文コンテスト 開催

令和4年(2022)

- 6月 第19回 追い山笠コース探訪 開催
第21回 楽文コンテスト 開催
- 12月 第21回 楽文コンテスト表彰式 開催

令和5年(2023)

- 5月 第41回 NPO博多の風フォーラム 開催
講師:永田 隆憲(一般財団法人省エネルギーセンター九州支部事務局長)
- 6月 第20回 追い山笠コース探訪 開催
第22回 楽文コンテスト 開催

NPO博多の風の歩み

- 設立
平成10年 9月
任意団体『博多の風』設立 代表:大庭宗一
- NPO登記
平成12年 6月
『NPO博多の風』として登記 理事長:大庭宗一

NPO博多の風事業概要

- 啓発事業
 - ・博多の風フォーラム開催
 - ・広報誌・HP発行
 - ・毎日新聞世論フォーラム公聴
 - ・作文コンクール(楽文コンテスト)開催
- 地域環境向上事業
 - ・博多の町親交
(清掃活動・クリーン作戦・冷泉小学校跡地提言・山笠文化継承)
- 活性化事業
 - ・書籍出版
 - ・博多祇園山笠の振興
 - ・追山コース探訪開催
- 協力事業
 - ・各市民団体との情報交換及び支援

NPO 特定非営利活動法人



〒812-0027
福岡市博多区下川端町8-16 -302
FAX 092-263-7188

E-Mail info@hakanokaze.jp
URL <http://hakanokaze.jp>

題字:新井光守



「チームづくりとリーダーシップ」

十カーボンニュートラルの進め方

令和5年5月13日、第41回NPO博多の風フォーラムが福岡市立博多小学校「表現の舞台」にて開催されました。今回は一般財団法人省エネルギーセンター九州支部事務局長の永田隆憲氏に登壇いただき、「チームづくりとリーダーシップ+カーボンニュートラルの進め方」と題して、学生時代の話や現在の取り組みについて話をいただきました。



永田 隆憲 (ながた たかのり)
一般財団法人省エネルギーセンター九州支部 事務局長
筑紫高校—早稲田大学を卒業後、昭和63年九州電力株式会社入社。
現在、一般財団法人省エネルギーセンター九州支部事務局長として、省エネルギーの推進等を通じてカーボンニュートラルの実現に向けて日々奔走中。
高校日本代表、U19日本代表(主将)、日本代表のラグビー代表歴を持つ。卒業後、九州電力ラグビー部でプレー。現役引退後、日本代表のFWコーチ、九州代表監督を歴任。

今日のお話は大きく3つ用意しています。1つ目はチームづくり、2つ目はリーダーシップ、3つ目はカーボンニュートラルの進め方です。

■チームづくりのポイント

『チームビルディング』という言葉は、チーム作りの手法や作法を整理したものです。5つのポイント「ミッション」「ゴール」「プロセスマネジメント」「集団ビジョン」「メンバー」があります。これは会社組織そのものではないかと思えます。

私が大学の時の話を例に説明します。所属していた早稲田ラグビーは勝つことがミッションでした。当時は社会人には勝てませんでしたが、そのゴールに向けて、どのように調整していくかというのが一つのミッションであり、それを形にすることがプロセスマネジメントになります。

集団ビジョンは、組織上部のビジョンが崩れると、全体がまとまらず、パフォーマンスに影響が出てしまします。私がキャプテンの時は、心が離れる選手を把握すること、ヒエラルキーのトップにいる4年生を掌握することを意識していました。彼らをまとめるために、今取り組んでいる内容を伝えました。皆さんがグループで作業されるときは、最初にミッションを共有することが大事なポイントだと思います。

次にチーム作りの一つのツールとして、オフサイトミーティングを紹介します。会社で上司と部下で小さなチームを作って気楽にまじめな話をする場のことです。飲み会などでは、お互いの意思疎通はできますが、中々答えがでません。一方、仕事でまじめな話をする立場を背負って発言したり、言って良

緒にやろうよ」というポジティブなやり方によって、確実にパフォーマンスが上がります。早稲田はチームとして強くなりました。

最後に、他人は簡単に変わらないということ。満足できないパフォーマンスであっても、やっている本人は一生懸命なわけで、変えようと思っていないから変わらないわけです。そのような人には、アプローチを変えなければ変わりません。他人を変えるには、自分が変わるしかないです。やり方を変えてアプローチすることによって、気持ちを得て、変化を生むということですね。やはり上に立



つものとしては、気付かせるということが大切です。リーダーシップには、大きく分けると「コーチセンター」と「プレイヤーセンター」の2つがあります。コーチセンターは一昔前のもので、とにかくリーダーの支配と指示が中心というものです。しかし、今はプレイヤーセンターで、選手をいかに育てるかを考えるスタイルが主流です。サバント・リーダーシップ(支援型)とも言われます。最適なアプローチをするために、まずは選手の声を聞きます。5W1Hを使うオープンコミュニケーションを使い、できるだけ「はい」か「いいえ」で答える質問ではなく、相手の意見を引き出す質問をします。コミュニケーションを取る上で、相手に「どのよう」に答えたらい「どのよう」かを考えてもらうことが非常に大事です。相手は正解を求めようとしません。ミスや想定外の回答であっても、一度受け止めることが大切で、そこから信頼関係を構築していきます。フィードバックの

いこと、悪いことを勝手に判断したりして、自分の意見を言わなくなり、答えるは出るのですが、腑に落ちない形になりがちです。そこで、気楽にまじめな話をしをする場が大事になります。オフサイトミーティングにおける4つの重要なポイントは、心を軽く、否定しない、ふざけない、失敗をおそれないです。私はミーティングの度に紙に書いて貼り出します。それから「こだけの話」を許すこと。これが無ければ話が出てきません。また、「ポジション管理」が何よりも大事で、肩書を無しにします。ポジション管理をつかうと、話が良い方向に集約されていきます。現代は以前より難しい時代になっていますから、こういったツールを使うことで、グループ間の風通しを良くし、良い方向に向かっているのではないのでしょうか。

際のコミュニケーションスキルとして、GROWモデル(左図参照)があります。まずG(目標)に向き合い、次にR(現状)どのような状況で、何をしたいのか、実際にどうだったのか、O(選択肢)があるのか、最後にW(行動)どうしたいのか、こういった形で、まずは自分が答えを準備しておくことが大切です。

GROWモデル	
G	Goal : 目標
R	Reality : 現状把握 Resource : リソース
O	Options : 選択肢
W	Will : 行動

■カーボンニュートラル実現に向けた取り組み

2050年のカーボンニュートラル実現に向けた様々な取り組みについてご紹介したいと思います。化石エネルギーの使い方を再考していくことは取り組みの大きな流れです。化石エネルギーを減らすこと、太陽光や風力等の再生エネルギーや非化石エネルギーに転換すること、そして総量を減らすための省エネルギーです。更に省エネルギーを推進するための、3つのステップをご紹介します。まず「現状把握」が大切です。エネルギー

■リーダーシップで大切なものと育成スキル

次にリーダーシップのお話をしていきたいと思えます。リーダーシップとして大切なのは、やると言ったら必ずやり遂げることです。途中でやり方がボンボン変わってしまいうと、信頼されなくなりますね。自分がやると決めたことに対して信念を持ってやり遂げるということに意味があります。賞賛されるリーダーの特質について、あるアンケート結果に、差別をしない、先が見える、気力を与えてくれる、実力がある、素敵であるというものがあります。私が学生の時に、最も気をつけたところは、実力があるというところです。四年生の時に1番というポジションにいました。1番というのは最前線のポジションですね。ここが負けるといきなりチーム全体のイメージが悪くなります。特に

の見える化により、変化を把握し、変化の原因を突き止めます。次に無駄を探すことです。変化があるものは原因を追求し、エネルギーが使われている部分に着目して、使い方や機器選定もチェックします。そして、まずはやりやすいところからスタートすることです。「省エネ」は我慢することのように考えがちですが、効果をしつかり出すことが継続のポイントです。

「チーム作り」「リーダーシップ」について、皆さんのお役に少しでも立てればと思っています。また、カーボンニュートラルについては、何かのきっかけになればと思います。今日はありがとうございました。

組織力を最大化し、個々のパフォーマンスを引き出すために体系化された考え方やスキルを、永田氏の実体験も交えて伺うことができる貴重な講演でした。カーボンニュートラル実現に向けた省エネの取り組みも同様ですが、何かを変えるためには、まずは自分が変わり、自分にできることを行動に移していきたいと思えます。(三谷 紀人)

～NPO博多の風ホームページ～

NPO博多の風は、博多の町の伝統を重んじながら、新しい風を吹かせ、博多の町と人の未来に貢献できる市民活動を深く広く継続的に推進します。ホームページには、設立趣意書やこれまでの取り組みに加えて、「フォーラム」「追い山笠コース探訪」「出版」「楽文」など、最新活動やイベントについて掲載しています。



博多の

おいしゃんと

博多を歩く。

令和5年6月4日、通算20回目となる「追い山笠コース探訪」を開催しました。

追い山笠コース探訪は、実際に博多祇園山笠に参加する博多のおいしゃんと一緒に、榎田神社から須崎問屋の廻り止めまで約5キロの追い山笠コースをめぐる人気イベントです。

開催に当たり、新聞や福岡市の市政だよりを始め、博多の風HPへの掲載、各種メディアを通じて多くの皆さまへ向けて、参加を呼びかけました。

今年は4年ぶりの通常開催となる「博多祇園山笠」(7月1日〜15日)を前に、福岡市内外から、178人の方にご参加いただきました。

冷泉公園を出発し、榎田神社の山留めから清道へ。語り部は博多祇園山笠土居流を中心とした仲間が担当します。

今年は土居流が一番山笠を務めることから、今年だけ執り行う神事や行事などが参加者に語られました。一番山笠は清道を廻り、能舞台に山笠を向けて一度止まり、祝い目出度を唄います。山笠に興味がある参加者からは、「一番山笠で最初に祝い目出度を唄うのはどんな人なの?」といった今年ならではの質問も飛び出しました。

博多の歴史や街並み、山笠うんちくを耳にした参加者からは「一番山笠が楽しみです。今年は例年以上に応援しています」「追い山笠がこんなに長いと思わなかった。」「とても楽しかった。久しぶりに通常開催される博多祇園山笠なので、是非直接見に来たいと思う。」など多くの感想が寄せられました。



担当幹事から注意事項説明



清道旗の位置や榎田入りについて説明



人気の書籍と山笠の扇子を販売



5キロの追い山笠コースを完歩

告知 第21回 博多のおいしゃんと歩こう

「追い山笠コース探訪」

開催予定 令和6年6月2日(日)

集合場所 冷泉公園(博多区冷泉公園)

発表！ 第22回楽文コンテスト 入賞者

博多祇園山笠振興会賞

- ・「だいすきなやまかさ」 箱崎小学校1年 渡邊 碧生
- ・「夢中になったバドミントン」 草ヶ江小学校4年 八尋 愛斗
- ・「人間万事塞翁が馬」 平尾中学校1年 合田 栞音
- ・「我が家の七月は山笠色」 花畑中学校2年 保田季名子
- ・「私の全てを音にのせ」 志賀中学校3年 高木 美妃

毎日新聞社賞

- ・「目ざすはセンター！」 草ヶ江小学校2年 井手 愛梨
- ・「大好きな文鳥のしろ」 板付小学校5年 日永田一花
- ・「大切に楽しもう」 東箱崎小学校6年 末永 瀬奈
- ・「バイク！大好きバイク！」 野間中学校1年 平野 華望
- ・「私をとりこにした理由」 当仁中学校2年 小川 徠海

RKB毎日放送賞

- ・「ぼくの好きなこと」 赤坂小学校1年 田中孝多朗
- ・「ぼくが大好きなこと」 草ヶ江小学校4年 野田 侑司
- ・「私のいとこ」 多々良中央中学校1年 近江 月羽
- ・「大好きなことを未来でも」 高取中学校2年 森實 香羽
- ・「私の大好きな家族」 当仁中学校3年 田頭麻利衣

NEC賞

- ・「お母さん、いつもありがとう」 東光小学校3年 櫻井 美月
- ・「私の家族」 東箱崎小学校5年 蘆田 紗月
- ・「混ぜ合わせる」 原小学校6年 有野 綾夏
- ・「私にとっての家族とは」 野間中学校1年 石郷 珠理
- ・「育った場所へ、ありがとう」 志賀中学校2年 倉成 紗良

NPO博多の風賞

- ・「おばあちゃんのたんじょうび」 春吉小学校2年 福島 嘉乃
- ・「助産師について」 東箱崎小学校5年 大塚 莉心
- ・「私の大好きな人」 草ヶ江小学校6年 古賀 琴羽
- ・「好きの力は無限大」 多々良中央中学校1年 入部萌乃華
- ・「ぼくの大好きなこと」 香椎第3中学校3年 高田 凰平

博多祇園山笠振興会賞

●箱崎小学校1年

渡邊 碧生

ぼくはやまかさがだいすきです。

おいしゃんとりのひ、おとうさんとてをつないで、はこぎきぐうをはしることがたのしいです。せがすごくたかいおとうさんとはしるとき、ぼくはいっしょうけんめいはしります。こけないようにきをつけて、おいていかれないようにはしります。そのとき、ぼくのすぐよをおかあさんとおねえちゃんたちはしりません。ぼくとおとうさんのしやおかあさんたちをみると、「おかしいな。」といつもわらってしまいます。でもいっしょにはしってくれるからうれいす。

だいあがりをしたときは、すこしこわかったです。たのみの2かいのまどがすぐちかくにみえるくらいたかいです。あしがすべるし、すぐうしろのになぎようがたおれてこないかしんぱいになります。でも、いっしょにだいあがりをしたおおきいこが、ずっとぼくをささえてくれました。だからあんしんしてだいあがりできました。うえからは、やまかさをみるたくさんのひとのえがおがみえます。

やまかさといっしょにはしるときは、なべさんというおとながてをつないでくれます。おとうさんよりもずっととしようえです。はしりはじめるまえには、「やまかさんのまえをはしるよ。」とおしえてくれます。やまかさがとまると、「やまかさがうごくまで、すこしきゅうけい。」とやすませてくれます。なべさんといっしょだから、あつてもきついもなく、さいご

目ざすはセンター！

●草ヶ江小学校2年

井手 愛梨

わってピッチ、タイミングを合わせると、簡単なことではないけれど、「音楽って楽しいな」と改めて気づくことができた。段々と少なくなっていく時間を寂しくも思いつつ、一秒も無駄にせず過ごすことができたと思う。

気づけば曲も終わりへと向かっていった。最後のユニゾンでは、すべての楽器がメロディーを奏でる、一番盛り上がる場所。みんなと吹くのが最後だと思うと、息に力がある。今までの努力、思い出、私の青春の全てを音にのせ、息を振り絞ってスフォルツァンドをかける。そして、最後の音を吹き切った。眼の前からの拍手の音が耳に響く。ありがとう、大好きなみんな。ありがとう、大好きなフルート。淡く光るホルルの景色が少し歪み、銀色のしずくが頬を流れ落ちた。

そして三年生。去年惜しくも取れなかった銀賞を目指して更に練習した。友達と音源を聞いたり、何回も合わせて意見を出し合ったり。一年生の子も上達が速く、難しいことを言ってもついて来てくれた。細かいところまでこだ

大好きな文鳥のしろ

●板付小学校5年

日永田 一花

私は、ペットのしろと遊ぶことが大好きです。しろは、「文鳥」という小鳥です。文鳥の中でしろは「白文鳥」という種類です。他にも、シナモン文鳥や桜文鳥がいます。しろはとてもきれいな白い毛をしているので、私が「しろ」と名前を決めました。

私は、毎日しろと遊ぶと、いつも心がおどります。しろはせまい所に入るのが好きなので、私はしろと遊ぶときに、せまい所を作って遊んでいます。例えば両手でわっかを作ったり、こしとソファの背もたれの間を通らせたりするなど、しろと遊んでいます。昔、私がしろのかごに急いで手をいれて、しろにこわがらされたことがあります。そのときに、私はとても切なくなりました。そんなことが二度とないように、それから私は毎日世話をしたり、遊んだり

わたしは、ダンスが大好きです。ようち園のころから、ジャズダンスをしていて、五年目です。色いろなおどりやステップをおぼえるのが好きで、なにより、イベントの時間におきやくさんが見てくれて、はく手をもらうことが一番うれしいです。

そんなダンスが大好きなわたしでも、きらいになることもあり。それは、先生からちゅういされる時です。がんばっても、出きない時もあります。その時はすごくやしいけど、まわりの友だちが教えてくれたり、一しよにれんしゅうしてくれたりして出きるようにがんばっています。それに先生は「出きる」と、いつもしんじてくれているの

るかごでした。えさは、お湯でとかして、ドロドロにして決まって朝昼晩の三回スポイトという道具で食べさせてあげていました。今は大きいかごで、えさはかたい種子を食べさせています。今、しろは四才です。人間でいうと四十才くらいなので、成長したなと思うととてもうれしくなります。私は十才になるのがおそく感じましたが、しろは四十才になるのが早いと感じました。

しろはもう四十才になるので、私のお父さんやお母さんと同じくらいのはしです。私より早くおじいちゃんになってしまおうので、私がしろを支えていきたいなと思っています。

しろはかごの外で遊ぶのが好きなので、できるだけたくさんしろを外で遊ばせてやりたいです。そのために私は宿題などするべきことを全てやり、空き時間を作って遊ぼうと思っています。これからも毎日、えさをや

で、がんばろうと思えます。それと、お母さんが、「つづけるということが、じつは一ばんむずかしいんだよ。だからここまでつづけてこられて、すごいよ！ダンスは、おどりで学ぶのではない、おどられても出きなくても、まずはすなおにうけとめて、やってみることを学ぶところだよ。」

今年の春、わたしは、はかたどんたくに出ました。前夜さい、本ぶ台、パレードで、れんしゅうもふえて、すごく大へんだったけど、みんなのおかげでがんばることが出きました。そしてなんと、ふくおかしみんのまつりしんこう会会長しようを、じゅしようすることが出きました。たくさんのおきやくさんが見てくれて、うれしくてノリノリでおどることができたからだと思います。

わたしは、今はまだ後ろの方だけど、これからもつとれり、水をかえて、たくさん外で遊ばせることをかかさずしろを守っていききたいなと思っています。そして、しろに長生きしてほしいです。

大切に楽しもう

●東箱崎小学校6年

末永 瀬奈

私の好きなものは、音楽やダンスだ。音楽は、学校の授業の中で一番楽しみにしている。歌や楽器を演奏することも好きだが、特にピアノが大好きだ。なぜなら、「やりたい！」

保育園でピアノがあると知り、その一言から私のピアノの習い事が始まったのだ。ずっと続けてきて、今年、六年生で八年目になる。数々の曲を弾いてきた。小さなころは、とても簡単な曲だけだったけど。でも今は、「エリーゼのために」や「トルコ行進

んしゅうして、らい年は、なるべくいちばん前、いや、センターで、おどりたいです。そのために、ダンスのきそ、そしてわたしは小さいので、小さく見えないように、大きくおどって、ひょうじょうにも、気分だけが上がります。それと、自分だけが上手になるのではなく、小さい子たちにも、自分がしてもらったように教えていきたいです。そして、またみんなで、かならず、しょうをとります。それからもうすぐはじまる二学期。わたしは、ほかのうんどうはにが手だけど、ダンスは好きなので、あきのうんどう会では、いつもよりじしんをもっておどりたいです。そしてこんどは、クラスみんなをおどろかせたいです。

曲」といった、有名な曲の中では、とても簡単な曲ではあるが、そのような有名な曲も、今では演奏をするようになった。いつかは「ラ・カンパネラ」といった、有名な曲の中では、最難関曲とも言われているような、とても難しい曲にも挑戦し、弾けるようになりたいという夢がある。そのために、私はピアノの練習は、毎日必ずしている。

ダンスは、習い事で昨年からは習い始めたダンスもあるが、私は、「K-POP」という韓国の音楽であるダンスもとても好きだ。私は、昔からおどる事が好きだったから、私の友達から「ここでダンスの習い事をしているよ。」と聞いた時、私の心はダンスを習うという気持ちに火が付いたのだ。お母さんに聞くと習っていいよという許可が出て、小学五年生の四月からダンスを習い始めたのだった。

バイク！大好きバイク！

●野間中学校1年

平野 華望

KPOPは、二年生くらいに好きになり、そこから曲を聞いたり、MVを観ていくうちに、KPOPのダンスを練習し始めた。最初は初め、難しかったが、段々と楽しくなってきた。女性だけをおどっていたが、男性グループのダンスもおどるようになっていった。さらに、楽しいだけでなく、すき間時間にもできたり、運動にもなるから、一石二鳥だ。そんなKPOPは、六年生になった今もおどっている。

私は、好きなことの中で、特にこの二つが大好きなのだ。しかし、たまに「やりたくない。」や「めんどくさい。」といった気持ちがあるのらない時間も好きな事があるのだ。だが、自分の好きな事、目標を持つたものであるから、無理をしない程度で、「好きな事を大切に、楽しもう。」という気持ちでいたい。

私はバイクが大好きです。私にはバイクで日本一周をする夢があります。今はどんなバイクに乗るか？日本一周ではどんな素敵な出会いがあるかを毎日想像して楽しんでます。そんな私の夢を歌にしました。曲は笑点のテーマに乗せて、私のバイクへの気持ちを歌詞にしました。

笑点のテーマ
(バイク大好きバージョン)
作曲 中村八大
作詞 平野華望

バイクに乗りたいたアタシ！
乗るのは絶対ハーレー！
十六なつたら免許取るー
夏は暑いし冬寒いー
ヘルメット被れば髪べっちゃんこ

私をとりこにした理由

●当仁中学校2年

小川 徠海

「忍ぶれど色に出にけり我が恋は物や思ふと人の問ふまで」
これは百人一首の中の、四十首目、平兼盛が詠んだ歌です。さて、みなさんは、この歌の意味を知っていますか。この歌には、
「隠していた恋心が顔色に出てしまい、他人に恋の悩みでもあるのか、と尋ねられてしまった」
という意味があります。私はこの歌の意味を知ったとき、たった三十一文字で乙女な恋心を表現してすごいと感動しました。百人一首を好きになっ

たきつけなくてもあります。私が百人一首に出会って、すぐに歌の意味を知りたいと思ったわけではありません。きっかけは、クラスで百人一首大会をすると決まったことでした。負けず嫌いだっちは、必死に、全て覚えようとした。
しかし、似た歌ばかりで、全く覚えられませんでした。インターネットで覚え方を調べていたとき、最初に紹介した歌の意味を見つけました。また、似ている歌でも意味が全く違うことや、昔の人々の苦しい生活、切ない恋心の歌だったということを知り、すごく刺激を受けました。今まで覚えられなかった歌も、自然と頭に入るようになりました。そこから、私は百人一首の虜です。
そして、意味を知るだけで、歌が一段と色づき、心を豊かにしてくれる百人一首が、私は大好きです。

RKB毎日放送賞

ぼくのすきなこと

●赤坂小学校1年

田中 孝多朗

ぼくのすきなものは、きゅうしよくとうぼんです。なぜかという、みんなにごはんをつくのたのしいからです。

ようちえんのときは、せいがいぐぼつてくれています。一ねんせいになつてからはとうぼんのしゅうは、そのチームが、きゅうしよくをくばります。一がつきはねこチームでした。二がつきはなにチームかまだわかりません。

きゅうしよくのじかんは、ほうそうがあります。そしてこんだてをおしえてくれます。あか、きいろ、みどりのたべものをおしえてくれます。

もしぼくがこんだてをきめるなら、あかのたべものはハンバーグ。きいろのたべものは、のりまき。みどりのたべ

ぼくが大好きなこと

●草ヶ江小学校4年

野田 侑司

ぼくが大好きなことは、宇宙です。その理由は、「コズミック・フロント」という番組で、「冥王星について」を見て、宇宙についてのきょうみわがわき、夢中になったからです。宇宙の好きなところは、宇宙について、まだ完全に明かされていないのでワクワクすること、宇宙のこうぞうが、あみめ状のようになっていて、ことや星が美しいからです。

今年の8月にペルセウス座流星群が見えるというニュースを見て、夏休みに、熊本県の「南阿蘇ルナ天文台」へ星を見に行きました。くもつていたり、雨で、はつきり見えなかつたり、星を見ることが、できなかつたりしたので残念でした。望遠鏡でさつえいした画像や、プラネタリウムを見ることができてよかつたです。ルナ天文台の望遠鏡は九州最大級で、6メートル級の

私のこと

●多々良中央中学校1年

近江 月羽

私には、十三才離れたいとこがいます。今年の二月に生まれてもうすぐで六か月になります。ときどきしか会えないけど、かわいくてしかたありません。抱っこして高い高いしてあげたり、くすぐったりしてあげると、声を出して笑ったりします。この子は女の子で、十二才離れた兄がいます。そのいとこも妹がかわいくてしかたありません。あまりにも構いすぎて親に注意されています。でもその気持ちは、私にも分かります。

それは、五年前にいとこの妹が亡くなったからです。その子は、お腹にいるときに病気が分かり生まれた後も生きられるか分らない状況でした。無事に生まれてからも入院していて会えませんでした。いつも動画や写真を送ってもらつて、成長を見ていました。私は、その動画や写真

を見て「かわいいなあ。会いたいなあ。」といつも思っていました。私には、弟一人といたところが三人、みんな男の子です。初めての女の子で会いたいと思う気持ちでいっぱいでした。その子がようやく家に帰れる準備をしている時でした。みんな一安心をした。その時に病気が悪化し九か月で天国に行ってしまうました。私が初めて会ったのは、亡くなってからでした。小さくてかわいい女の子でした。その時、私は小学2年生でした。すごく悲しくて、生きて会いたかったという気持ちでいっぱいでした。折り紙をしたり、本読んであげたり、ボードで遊んであげたり、してあげたいことは、たくさんありました。私だけでなく、おじさんやおばさん、おじいちゃん、おばあちゃんも同じ気持ちだったと思います。生きていれば今年で6才です。

去年、おばさんがにんしんしたと聞いた時、みんなとても大よろこびでした。そして、

女の子と聞いた時はもつと大よろこびでした。にんしん中も安静にしないいけない時期もあつたけど、お腹の中で元気に育っていると聞いてみんな一安心しました。無事に今年の二月に生まれ、半年がたちます。首がすわり、目も見えて、足も強い元気な女の子です。最近は、ね返りもできて、人見知りもするようになり、少し泣かれることもありませんが泣いている姿もとてもかわいいです。亡くなったこの子のお姉ちゃんにしてあげられなかったことをこれからたくさんしてあげたいです。今からのかわいい、いこの成長が楽しみです。

大好きなことを未来でも

●高取中学校2年

森實 香羽

私の大好きなことは、「人と話すこと」です。毎日、友達や家族と話していると、日

NEO賞

お母さん、いつもありがとう

●東光小学校3年

櫻井 美月

わたしのお母さんは、やさしいお母さんです。

おいしいごはんを作ってくれます。肉じゃがを食べたいと言ったら作ってくれた。お母さんに、

「おいしかった。」

と、つたえたら、お母さんはいつも、

「それはよかった。」と、毎回、毎日言います。ダンスの発表会の時も、わたしのかみの毛をかわいくむすんでくれてうれしかったです。

お母さんは、お仕事もがんばっています。

お母さんのお仕事は、おまつりでお店をする事です。もちもちポテトを作ったり、かき氷を作ったり、肉まきおに

頃の疲れが吹き飛んだり、気持ちが悪くなったたりします。また、人と話すことで相手のことをより知ることができ、今よりも仲良くなれると思います。

私は、「より多くの人と会話をしたい」と思ったことから、二カ国の言語をマスターしようとして去年の一月に決意しました。

一つ目は、日本語です。日本語は友達や家族、先生方と話すときに使います。日本語は、目上の方などにかう敬語と友達や家族にかう友達言葉があり、私達は無意識に使い分けています。友達言葉より難しい敬語は、大きく分けて三つあります。尊敬語と謙讓語、丁寧語です。これら相手によってつかい分けないと相手に対して失礼になります。私はたくさんの人と日本語で会話するために、敬語をしっかりとマスターすることが一番重要だと思ってきました。また、話すためにはいろいろな言葉を知らなければなり

ざりを作ったりしています。

朝早くから出かけて、夜おそくに帰って来ます。おそく帰って来ても、せんとくや明日のじゅんぴをします。そんなお母さんは、とってもがんばっているし、カッコ良いと思います。

お母さんがお仕事に行っている間、わたしはおるすばんをしているので、ごほうびに、ベビーカステラやおやつをもつて帰って来てくれます。休みの日のお母さんは、つかれてずっとねていますが、夜ごはんの買い物やおそうじをしてくれます。

そんなお母さんが、わたしはカッコ良くて、やさしくて、とってもすごいなあと思います。わたしはお母さんが大好きです。わたしは大人になったら、お母さんみたいなお仕事をがんばるステキなお母さんになりたいです。

お母さん、いつもありがとう。

ません。「どうしたらいろんな言葉にふれられるだろう。」と考えていると、塾の先生が

言っていたことを思い出しました。「毎日文字にふれていると、自然に言葉がスラスラ出てくるよ。」と言っていました。これを思い出して、私はどんなに忙しくても毎日文字にふれるようになりました。すると、前より知ることが増えたのでこれからも続けることに頑張ります。

二つ目は英語です。

去年の一月から一番力を入れて勉強しています。より多くの人と会話するためには、世界共通語の英語を学ばないと思いました。また、今英語を本気で学べば、将来の視野が広がると思います。私は、英語で海外の人と話せることが役に立つ仕事につきたいです。そのために、英語のコミュニケーション力向上や発音、文法をマスターできるようにすること、話している相手に失礼にならないようにいろ

私の家族

●東箱崎小学校5年

蘆田 紗月

私は五人家族です。私の他に父さん、お母さん、妹、弟がいます。

お父さんは私たちのために仕事をがんばってくれて、また毎日つかれているのにお母さんの家事を手伝っています。あと私たちと遊んでくれます。私はそんなお父さんにとっても大好きです。また

お母さんは、私と妹、弟のために家事をがんばっています。また、お母さんはつかれていてもかならず学校の懇談会や授業参観、学校の行事はきてくれます。また妹がつれてこれる行事だったらぜったいにきてくれます。こんなお母さんもとっても大好きです。私はいつも口にはださないけど心の中で「いつもありがとう。」と言っています。

妹は私がおちこんだときにぜったいに笑わせてくれます。

んな国の文化をたくさん学びたいです。

このように、「人と話すこと」をしっかりとマスターするためには、一つ一つの言葉を一生懸命学ぶことが大切です。私は、これからもより多くの人と日本だけでなく国境を越えて会話ができるように一日一日頑張りたいです。

私の大好きな家族

●当仁中学校3年

田頭 麻利衣

私の家族は、母と祖父と祖母と私の四人家族です。

私には父がいません。それでも不自由だと感じることはありません。

母は、月に数回出張へ行き、その他の日は在宅勤務をしています。私が十分な生活ができるよう、毎日家事と仕事を両立させている母には感謝しがあります。

四人家族といっても、普段は笑わせたらぜったいに笑顔になります。またたまあにケンカすることも多いけどすぐになかなおりできます。私がおちこんだときにぜったい笑わせてくれる妹はとっても大好きです。

弟もいます。弟はまだおなかの中にいます。弟がでてるのがとっても楽しみです。弟とも仲よくしたいです。また弟も大好きです。私はこんな家族がとっても大好きです。

私はこんな家族は世界に一つしかないのが気づきました。また世界一すてきな家族だとも気づき、これからは大切にしていきたいです。

仕事がいそがしくてつかれていても家事を手伝っている、また私と妹と遊んでくれるお父さん。私はこんなお父さんをみないたいです。家事がいそがしくてつかれていても懇談会や授業参観、学校の行事はかならずきてくれるお母さん。私はこんなお母さんに感謝しています。

私がおちこんだときぜったいに笑わせてくれる妹。こんな妹は大好きです。

まだおなかの中で元気している弟。弟も大好きです。

私はこんな家族が大好きです。またこれからも大切にしたいです。

混ぜ合わせる

●原小学校6年

有野 綾夏

客席が暗くなり、舞台上にスポットが当たった。私は「ついに始まったんだ」とわくわくした気持ちもあったが、それ以上に「うまくできるかな」と緊張していた。チームの仲間がセリフを言い始める。私は、息を吸い込んだ。

私は演劇が好きだ。そこで、八月三日から六日にかけて、四日間、演劇のワークショップに参加することになった。ワークショップに行き始めて一日目。劇を作るのには「混

ぜ合わせる」事が大切だと言われた。確かにそうだ。自分の意見を通すだけではなく、相手の意見をしっかりと聞いたからこそ、自分だけじゃ考えつかない面白い台本が作れる。みんなと劇を作っている中で、みんなの意見を出し合い、どんどん混ぜていこう。私はそう心に決めた。

二日目以降から、四日目の発表会に向けて実際にチームで劇の台本を作ることになった。私はチームの仲間と仲良くなれるかな、と不安をいだきながらも色々な意見を混ぜ合わせ、世界に一つしかない台本を作り出した。

そして迎えた四日目の発表会。舞台上で演じる私たちに、暖かな拍手と盛大な笑い声がひびいた。

こんな経験は、なかなか味わえるものじゃない。だからこそ心から楽しめることができた。まるであなたの居場所はここだよ、そう言われている気さえした。みんなで台本を作るのは楽し

かったけれど決して楽ではなかった。意見がぶつかってしまいうこともあったし、観客にどうやったら伝わるのか、一生懸命に頭をひねったこともあった。

でもこうして、舞台上に上がったのはみんなのおかげだ。こんなに楽しい四日間をプレゼントしてくれて本当にありがとう。

私にとつての家族とは

●野間中学校1年

石郷 珠理

人の大半は「自分にとつて一番身近な人は。」と聞かれると「家族」と答えると思います。そんな身近な家族、日頃からいつも私は毎日一緒にいるのに、「家族ってなんだろう。」と深く考えた事がありました。

毎日、私たちの健康と生活を支えてくれる母。毎日会社に行つて夜遅くまで働いてくれる父。

毎日、どんな時でも可愛がってくれてどんな時でも味方になってくれる姉。

こんなに幸せな日々を送っている一方で、虐待などで今現在も苦しんでいる子どもたちが世界中に居ると思うととても胸が痛みます。

私にとつて家族とはどんな時でも自分の味方をしてくれて、時には叱つて怒つてくれてそしてなにより自分を誰よりも愛してくれるのが家族だと思います。

私はこの前、母と大げんかしてしまった、なんで私の気持ちりが分かってくれないんだとどっちもムカムカしたまま部屋に戻りました。ですが自分でいつも反省してるのに、母は私のために注意をしてくれているというのも分かっているのにどうして、自分のことしか考えずに行動してしまふんだらう。とすごく自分が嫌になりました。母に謝りにいったときもなにも悪くない母も謝つて私を抱いてくれたときは思わず涙があふれそう

育った場所へ、ありがとう

●志賀中学校2年

倉成 紗良

青く透き通った海の隣には、松がのびのびと育ち、漁に出ようとしている漁師さんたちの威勢のよい声が聞こえます。私が高好きなのは、地元である志賀島です。

志賀島といえば、歴史深い金印。私を通う志賀中学校にも、金印ティーシャツというオリジナルのグッズがあります。さらに、金印公園では実物大の金印のレプリカも見る事ができ、そこから見る景色は、金印の輝きをより際立たせています。

志賀島の海は、言葉にできないほどの美しさです。澄んだ透明の海水は青空色に染まり、砂浜へ行き来する波の景色が私はお気に入り、冬は波の湧いてきます。夏は海水浴客でにぎやかになり、冬は波の音が静かに聞こえてきます。そんな美しい海で採れる海産

物は絶品です。サザエやワカメは新鮮で、特に私はワカメたつぷりのお吸い物が大好きです。志賀島の至る所に、海の幸を使ったカフェやお食事処などがあります。この豊かな海が保たれているのは、志賀神社の綿津見三神のおかげという言い伝えがあります。境内は、山に囲まれているので静かで涼しく、神秘的です。その木々の間から、きらりと光る海が見えます。私も家族と毎月参拝に行つていて、山のように清らかな気持ちになります。

ここからは、私の志賀島エピソードを紹介します。小学三年生のとき、私は祖母から買ってもらった新品の自転車で夕焼けを見に行こうとしていました。薄暗くなるので母と一緒に行くことになり、母は後ろから車で、私は慣れない自転車をこぎました。田んぼの間の道路の端を走っていると、顔に虫があたり、つい片手を離してしまいました。ハンドルがゆらゆらと揺れ、

NPO博多の風賞

おばあちゃんのたんじょうび

●春吉小学校2年

福島 嘉乃

わたしは、おばあちゃんが大好きです。なぜかと言うと、いつもやさしくてわたしにおこづかいをくれたり、大こうぶつのイチゴをかってくれるからです。そしていつもでん話をしてくれます。

この前もいつものでんわがかかってきました。でもなんだかいつもよりもさびしい声がありました。気になってママにそのことを話したらママは少し考えて「しまった。」といいました。なんときのうはおばあちゃんのおたんじょう日だったのです。かぞくみんなわすれていました。わたしはばあちゃんのさびしい気もちがわかったので、ごめんねのお手がみとプレゼントのケーキをよういすることにし

でした。

今日は母の話をしました。父も姉も同じような場合は何回もあったし、私がつと大人になればいいだけのことなのですが、最終的にどんなことを言われようが私の味方をしてくれる家族が私は本当に大好きです。

これから部活も増えてもつと迷惑をかけることもあるだろうしお互いに逃げ出したくなるようなこともあるかもしれないけど家族という恵まれた存在を死ぬまで大切に生きていきたいです。

これからもよろしく。

ました。

ママがお休みの日いつしよにケーキをえらんでばあちゃんちに行きました。いつもどおりばあちゃんはやさしくてみんなでケーキでおたんじょうびをおいしました。ばあちゃんのおがたのしそうでした。わたしもばあちゃんのおをみてうれしくなりました。

ことしはわすれてしまったけどらい年はわすれないようにおいおいをしたいとおもいました。だいすきなばあちゃんいつまでも元気できてほしいと思いました。

助産師について

●東箱崎小学校5年

オオツカ
大塚 莉心 リココ

私は、将来助産師になりたいと思った理由は、「キツザニア」というお仕事体験で、助産師の仕事は私に合った仕事内容でした。そして私は、赤ちゃんが大好きでお世話することも大好きだからです。

助産師のお仕事はたくさんのお母さんと赤ちゃんに出会い、赤ちゃんが産まれてくるのをお医者さんと一緒に手伝います。出産後も、病院で赤ちゃんとお母さんが入院している間は、お手伝いしたりするそうです。退院後も、お母さんから赤ちゃんの事で相談やアドバイスをうけるそうです。そして、たくさんのお母さんたちをサポートし、不安を少しでもなくし笑顔でお母さんたちが生活出来るようにする事が、大切だと聞きました。私は、これから助産師になるためにたくさん勉強もしたいといけないと思います。そして一番大切な安心をお母さ

声で返事をした。フロアに一歩一歩進んで行くにつれて、緊張が増していく。でも、不安な気持ちをおさえ、できる、絶対できると自分に言い聞かせながら最初のポーズをとった。「ナイスー。」

よし、今のところ良い感じ。次が勝負。いよいよ本命の技だ。少し足を左側に開けば成功する。練習をくり返してつかんだ自分なりのコツを思い出しながら私はフープを投げた。そしてすぐに前方回転。よし、いける。フープをキャッチすると同時に仲間からの心地良い拍手もキャッチした。「やるじゃん、イエーイ。」

演技を終えて私が戻ると、コーチがお疲れ様のハイタッチをしてくれた。心にしみわたる最高の音がした。失敗した時の悲しみや苦しきは大きい。でも、だからこそ成功した時の達成感は何れで、それを仲間と分かち合える新体操が私は大好きだ。そして、新体操に私が打ちこめるのは、周りの人の理解と

んたちに出会えるようにつねにやさしい気持ちをもって笑顔が似合う大人になりたいと思います。

私の大好きな人

●草ヶ江小学校6年

コガ
古賀 琴羽 コトハ

私の大好きな人は「家族」です。私の家族はいつも笑顔であふれています。私がテストの点数などで落ち込んでいてもお母さんや妹が笑わせてくれます。笑わせる「神様」なのっていうくらいとても笑わせてくれます。お母さんは、いつも笑顔で思いやりのある人です。お母さんは、休みの日にはプールなど子供が遊べるところに連れていってくれます。たとえお母さんがつかれていても私や次女があきないようにと言って連れていってくれます。後、お母さんは「友達がいの方が楽しいよね。」と言います。私や次女の友達

協力のおかげだ。あの子どもバレーを続けられていたら人生が違ったかもしれない。でもきつと、その子の親は良かれと思って勉強をすすめたのだと思うから、どちらも責められない。ただ、もしこの先、同じような立場に立つことになった時には、私は例えけんかしてでもとことん話し合っで、納得した上で自分の道を切り開いていきたい。

ぼくの好きなこと

●香椎第3中学校3年

タカタ
高田 鳳平 コトヘイ

「おねがいします。」パチン・パチンと駒音が響く。ゆっくりとなっていく駒音とともに、僕のまわりの音が聞こえなくなっていて、目の前の相手が僕だけになる。相手の手が生き生きとしてきて、駒音が強くなってくる。相手は自信があるな。でも勝ちたい。僕は一生懸命考えて、駒を進

まで連れていってくれます。お母さんの思いやりのある所はもう一つあります。スーパーで重い荷物を持つてるお年寄りの人に声をかけ、そのお年寄りの家の近くまでお母さんが思い荷物を持ち運んだり、バスの中では立っているお年寄りの人を手で支えたりしています。「お母さん」という存在は私にとってそんけいする人です。

2人目は：お父さんです。お父さんはいつも夜おそくまでお仕事をがんばっています。いつも帰えってくと「はあ〜」や「つかれた〜」と言っています。それでも私の前では笑顔です。お父さんの大好きな所は私が分からない勉強を私が分かるまで紙に書いていていねいに教えてくれます。後、高校受験のためと言い漢検や英検、算検、全国小学校統一テストなどいっぱい受けさせてくれます。お父さんは私が反こうしてもいつも通りに接してくれるところがとても大好きです。

める。「負けました。」相手の口からその言葉が聞こえた時、僕の心の中は喜びでいっぱいになる。

僕は将棋が大好きだ。定跡はあるけれど、戦い方がたくさんあって、終わりのないところがとても好きだ。相手の様子を見ながら次の手を考えるのが楽しい。初めての相手でも、言葉がなくても、相手に駒の動きで何をしようとしているのかを伝えることができる。感想戦で、阿吽の呼吸で盤面を戻していく瞬間も、分かり合っているような感じがしてとても気持ちがいい。

僕と将棋との出会いは、小学二年生の冬だ。体を動かすことが苦手な僕のために母が裏にオセロがついた将棋盤を買ってきてくれた。先生はおいちやんとお父さん。僕は、決まった駒の動きなのに色々な攻め方のできる将棋の面白さにあっと言う間に夢中になった。子供の対戦相手が周りにはいなかったら、児童館に月一習いに行くように

3人目は：妹（次女）です。妹はとても元気でわんぱくな男の子っぽい性格です。いっぱいけんかしても仲良いです。とっても気が合いません。こんな性格がいろいろな家族が大好きです。

好きの力は無限大

●多々良中央中学校1年

イリベ
入部 萌乃華 ホノカ

「お勉強も大事だけど、それ以外にも何か自分が思いつきり打ちこめるものを探してね。」

これは、私が小さいころ、母がよく口にしていた言葉だ。これを母が口すっぱく何度も言うのには理由がある。父と母の高校の友達は二十八歳で自殺した。その子はバレーボールが大好きで、高校でも続けたかったのに、親に勉強を優先するために部活をあきらめさせられた。その後その子は、目標を失い、大人になっ

なった。そして小学四年生の夏、将棋大会に参加した。結果は予選敗退。僕は悔しくて涙を流した。五年生の夏、予選を突破し本選に進んだが、トーナメントで一回戦負けした。やはり悔しくて、もっと強くなりたいたいと思うようになった。そして、将棋会館に通うことになった。母によると、将棋を指すようになって、僕からくやしいや楽しい、勝ちたいという意思が感じられるようになったらしい。たしかに僕は痛いことや、人と競争することはあまり好きではない。何を考えているかわからないと言われることも多い。けれど、将棋では負ける

とくやししいし、勝ちたいとも思う。悔しくてもうれしくても涙が出ることを学んだような気がする。ほかに良い影響があった。瀬川晶司六段の著書「泣き虫しよったんの奇跡」をきっかけに小説を読むようになったのだ。夢をあきらめずに新しい道を切りひらいてプロ棋士編入試験に合格

て引きこもりになり、最終的に自ら命を絶ってしまったのだ。この話を聞いて育った私は、色々なことに挑戦してきた。スイミング、チアダンス、習字、ピアノ：そして、私が最後に選んだもの。それは：

真っ白なフロアを目の前に、緊張感がただよってくる。私は今、フープをにぎりしめて、中体連の舞台上に立っている。絶対成功させる。この思いは今までの大会の中で一番強かった。中体連をむかえるまでの三大会、大技でフープが場外に出てしまい、全くやしい結果となってしまったからだ。私の演技は、その大技が見せ場である。だから成功させるために、当日ギリギリまで、この一分半の短い演技を週に六日の練習と家でイメージトレーニングで精一杯研究してきた。

「フープ、十番、入部萌乃華さん。」

「はい。」私は気持ちで負けないように体育館に響きわたるくらいの

して棋士になった話にとっても感動し、僕のバイブルとなった。そして僕は、将棋がますます好きになった。

僕は今もほぼ毎週将棋会館に通っている。初心者から、段位者までさまざまながいて、好きなだけ指すことができる。いつも五時間くらい指すけれど、足りないくらいだ。弟よりも小さい小学生に瞬殺されることもあるし、段位者に勝つことだってある。僕が一時間以上考えても出てこないような深い読みが一瞬でできるのを尊敬し、自分もそうなりたいたいと思う。将棋に年齢は関係ない。僕はこれからも将棋を趣味の一つとして、おじいちゃんになるまで指し続けたいと思う。

来風人



幹事紹介
森川雄介さん(34歳)
 NPO博多の風 楽文コンテンツ担当
 ■職業: 製造業(メーカー)
 ■土居流 川口町

とに後輩達が増え、若い人達に色々教える側になり、令和2年から川口町を引っ張る赤手拭となりました。常に学ぶことが多くあり、そこで得た経験が普段の生活や仕事でもしつかりと活かされていることは、私にとって貴重な財産です。

■追い山笠コース探訪

現在、私が参加させていただいている川口町で初めて参加した町の行事が、「追い山笠コース探訪」でした。先輩方が法被に袖を通して博多の町ゆかりの名所を、丁寧かつユーモアたっぷりに案内される姿を見て、普段生活していた近くに、こんなにも歴史ロマン溢れる名所が多くあることに衝撃を受けたのと同時に、先輩方への憧憬の念を抱いた事は忘れません。博多の風と博多祇園山笠に参加することで、大好きなふるさとの深い歴史を知ることができ、日本史好きの私にとって大きな財産となりました。

そんな私も、先輩方の背中を追いかけ博多の風の中事となり、今では「追い山笠コース探訪」で参加者の方々に博多の町を案内しています。自身も、博多の歴史について学びますが、まだまだ先輩方のようにユーモアをたっぷり交えた案内は出来ないものの、参加者の方々に博多の歴史を理解していただき、帰り際の笑顔を見ると、とてもやりがいを感じます。

■楽文コンテンツ

博多の風では次世代を担う子供達のために、毎年夏休み期間中に肩の力を抜いた「楽文コンテンツ」を開催しています。これまで、多くの子供達から届いた純粋無垢で素直な楽文を拝読させていただきました。毎回、感動する楽文をはじめ、大人も感心する内容がとても多く驚くばかりです。コンテンツを通じて、子供達の思いをしつかりと表現する機会に加え、且つ、子供達に伝える大切さと自信に気付かせる機会を手伝わせていただいていることに、「追い山笠コース探訪」同様、とてもやりがいを感じております。

■最後に

これからも、博多の風の活動を通じて、博多祇園山笠の魅力はもちろん、歴史ロマン溢れる博多の魅力も多くの方々に伝えていき、次世代の子供達が誇れるふるさとに出来るよう、微力ながらお手伝いしていきます。と思っています。

■博多祇園山笠との出会い

私は福岡市内で生まれ育ったので、学校の授業でも地元歴史・文化として博多祇園山笠のことを学ぶ機会が多々ありました。また、博多には住んでいませんでしたが、私が通っていた学校にも幼い頃から山笠に参加している友人が数名いたこともあり、私もRKB毎日放送主催の「博多子供山笠教室」に参加して山笠への思いを募らせていき

大庭宗一の大人気エッセイ

シリーズ第11弾

「明日への一言。11」

人気シリーズ好評発売中
 熱いメッセージがいっぱい
 詰まったエッセイ集です

定価600円(税込み)



ホームページからも購入できます。
 URL <http://hakatanokaze.jp>

賛助会員募集中

我々「NPO博多の風」の主旨をご理解いただき、活動に賛同いただける方を広く募集しています。お近くの博多の風の幹事が下記までご連絡ください。

- 一般会員
 一口 1,000円(年間)
- 特別・法人会員
 一口 10,000円(年間)

(一口以上、何口でもお申込みいただけます。)

お問合せ先
 「NPO博多の風」広報企画(担当:山口)
 E-mail info@hakatanokaze.jp
 FAX 092-263-7188

編集後記

3年に及ぶ人々の生活を制限してきた新型コロナウイルス蔓延ですが、落ち着きを見せ、やっとこれまでの生活を取り戻しつつあります。普段の生活の中でも、マスク越しに何とか表情を読み取る生活から、喜怒哀楽を表情から直接感じることで、NPO博多の風の活動においても、フォーラム、追い山笠コース探訪、楽文コンテンツと、参加者の皆様と直接コミュニケーションをとれる行事を通常開催することができ、大変嬉しく感じています。これも関係者の皆様の支えとご尽力があってこそだと思っています。有難うございます。

さて、今回の風人では永田氏による講演を紹介させていただきました。私ども博多の風の活動においても参考になる部分が多くあり、活動も継続していき、毎年課題は変化しますが、参加する人の環境もそれぞれ変わっていき、強いつながりを行い、強い活動を継続していくことが課題です。今回の講演を博多の風の活動にも活かしたいと思えます。これからは、博多の風の活動にご理解ご協力のほど、よろしくお願い致します。
 (今長谷 創太)